

2022. 2. 14

## 中途採用実態調査

〔 2021年度上半期実績、2022年度見通し 〕  
正規社員

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村吉弘)の人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所では、民間企業における2021年度上半期の中途採用実績、2022年度の中途採用の見通しに関する調査を行い、4,519社(回収率62.8%)より回答が得られましたので、ご報告いたします。

**2021年度上半期の中途採用実績は「確保できなかった」が「確保できた」を上回り、再び採用難の傾向**

**2022年度中途採用見通しは、前年より増加**

### 【2021年度上半期の中途採用実績(正規社員)】

- 2021年度上半期の中途採用において、人員を確保できた企業は47.8%、確保できなかった企業は50.6%であった。中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)は-2.8%ポイントと、2年ぶりに「確保できなかった」が「確保できた」を上回る。コロナ禍前と似た状況となった。
- 従業員規模別に見ると、規模300人を境に傾向が異なる。従業員規模300人未満の中小企業では、人員を確保できた企業が多いが、規模300人以上では、人員を確保できなかった企業が多い。
- 業種別に見ると、情報通信業が中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)が-26.1%ポイントと最もマイナス幅が大きい。また建設業と機械器具製造業についても、中途採用確保D.I.がそれぞれ-16.1%ポイント、-15.1%ポイントとマイナス幅が大きい。成長産業や人手不足の業種では、人材供給が追い付いていない。

### 【2022年度通期の中途採用見通し(正規社員)】

- 2022年度の中途採用の見通しについては、「増える」(14.5%)が「減る」(3.6%)を上回った。前回はコロナ禍のため、2016年以来初めて「減る」が「増える」を上回ったが、今回は一転して採用意欲は回復した。業種別に見ると、「増える」が「減る」を大きく上回っているのは、情報通信業(+22.7%ポイント)、機械器具製造業(+14.1%ポイント)だ。またコロナ禍の影響が大きかった飲食店・宿泊業(+12.9%ポイント)や運輸業(+12.0%ポイント)においても、2022年度の採用意欲は回復している。

## INDEX

調査概要	2
2021年度上半期 中途採用における人員の確保	3
2021年度上半期 中途採用における人員の確保 経年比較	4
2022年度 中途採用見通し	5～6
従業員規模別	5
業種別	6
業種5区分の内訳	7

## 【調査概要】

調査目的：全国の民間企業を対象に、正規社員の中途採用における求人動向を明らかにすること。

## 【2021年調査】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業 7,200社

調査項目：2021年度上半期中途採用状況・2022年度の中途採用見通し

調査期間：2021年10月6日～11月10日

回収社数：4,519社（回収率62.8%）

ただし、2021年度上半期中途採用については、採用を実施した企業3,173社に限定して集計

回収方法：電話・FAXにて回収

## ＜調査結果を見る際の注意点＞

- 1 %の数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%と一致しない場合があります。
- 2 業種別の表において、業種にその他の区分があるため、大分類の合計社数は回答社数と一致しません。
- 3 業種区分については最後のページに添付しています。なお、ウェイトバック集計の際は、建設業・製造業・農林水産・鉱業を1つのグループとしています。
- 4 従業員規模は有期雇用者を含みます。
- 5 人員の確保(3、4ページ)について、「無回答」の企業の内訳をより詳細にし、今回から「その他・無回答」としています。それに伴い過去の数値を遡及改訂しているため、2017年度上半期、2020年度上半期のみ、過去のレポートと数値が若干異なります。

## リクルートワークス研究所について

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルート内にある人と組織に関する研究機関です。「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会の創造」を使命に掲げ、「労働政策」「労働市場」「組織人事」「個人のキャリア」「キャリア教育」「人材ビジネス」などに関する調査・研究、情報発信、提言活動を行っています。

## 2021年度上半期 中途採用における人員の確保 人員確保状況は、業種別に傾向分かれる

- 2021年度上半期の中途採用において、人員を確保できた企業は47.8%、確保できなかった企業は50.6%となっており、中途採用確保D.I.（「確保できた」－「確保できなかった」、以下D.I.）は-2.8%ポイントとなっている。
- 従業員規模別に見ると、規模1000人未満企業でD.I.は-1.0%ポイント、1000人以上企業で-7.4%ポイントとなった。大手企業の方が、採用難の傾向が強かった。また、規模300人未満企業では、D.I.が0%ポイントを上回っている。2021年度の中途採用見通しでは、300人以上企業の採用意欲が減退したのに対し、300人未満企業ではコロナ禍でも採用意欲は維持されていたため（※）、コロナ禍が一部の中小企業の人員確保に寄与した可能性がある。
- 業種別に見ると、業種間でのばらつきが大きい。情報通信業（-26.1%ポイント）、建設業（-16.1%ポイント）、機械器具製造業（-15.1%ポイント）などで中途採用確保D.I.が低い水準にある。人手不足が目立つ業種や成長産業と言える。一方で、卸売業（+16.0%ポイント）、飲食店・宿泊業（+4.3%ポイント）のD.I.はプラスに留まっている。これらの業種は前回調査でもプラス幅が大きかった。前年よりは縮小したものの、新型コロナウイルスの影響で業績の先行きが不透明で、需要が減退したため、2021年度上半期時点ではまだ採用意欲が十分に回復していなかったと言える。

（※）リクルートワークス研究所「中途採用実態調査（2020年度上半期実績、2021年度見通し）」

### ■従業員規模別 2021年度上半期 中途採用における人員の確保

	社数	確保できた	確保できなかった	その他・無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」－「確保できなかった」 （%ポイント）
<b>全 体</b>	<b>3173</b>	<b>47.8%</b>	<b>50.6%</b>	<b>1.5%</b>	<b>-2.8</b>
<b>1000人未満</b>	<b>2258</b>	<b>49.0%</b>	<b>50.0%</b>	<b>1.0%</b>	<b>-1.0</b>
5～99人	494	52.6%	46.8%	0.6%	+5.8
100～299人	817	50.6%	48.7%	0.7%	+1.9
300～999人	947	45.8%	52.7%	1.5%	-6.9
<b>1000人以上</b>	<b>915</b>	<b>44.9%</b>	<b>52.3%</b>	<b>2.7%</b>	<b>-7.4</b>
1000～1999人	410	46.8%	51.7%	1.5%	-4.9
2000～4999人	322	42.5%	53.7%	3.7%	-11.2
5000人以上	183	44.8%	51.4%	3.8%	-6.6

### ■業種別 2021年度上半期 中途採用における人員の確保

	社数	確保できた	確保できなかった	その他・無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」－「確保できなかった」 （%ポイント）
<b>全 体</b>	<b>3173</b>	<b>47.8%</b>	<b>50.6%</b>	<b>1.5%</b>	<b>-2.8</b>
建設業	281	41.6%	57.7%	0.7%	-16.1
製造業（機械以外）	572	52.1%	46.5%	1.4%	+5.6
機械器具製造業	446	41.9%	57.0%	1.1%	-15.1
※電気・ガス・熱供給・水道業	24	41.7%	58.3%	0.0%	-16.6
情報通信業	241	36.1%	62.2%	1.7%	-26.1
運輸業	262	45.8%	53.1%	1.1%	-7.3
卸売業	269	57.6%	41.6%	0.7%	+16.0
小売業	259	51.0%	47.1%	1.9%	+3.9
金融・保険業	126	53.2%	40.5%	6.3%	+12.7
不動産業	55	58.2%	40.0%	1.8%	+18.2
飲食店・宿泊業	91	51.6%	47.3%	1.1%	+4.3
医療・福祉	253	47.0%	51.4%	1.6%	-4.4
※教育・学習支援業	41	61.0%	39.0%	0.0%	+22.0
サービス業（他に分類されないもの）	228	48.7%	50.0%	1.3%	-1.3

注1) 2021年度上半期(2021年4月～9月)において、中途採用を実施した企業を集計対象とした。「中途採用において、必要な人数を確保できましたか」という質問をしている。

注2) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載。

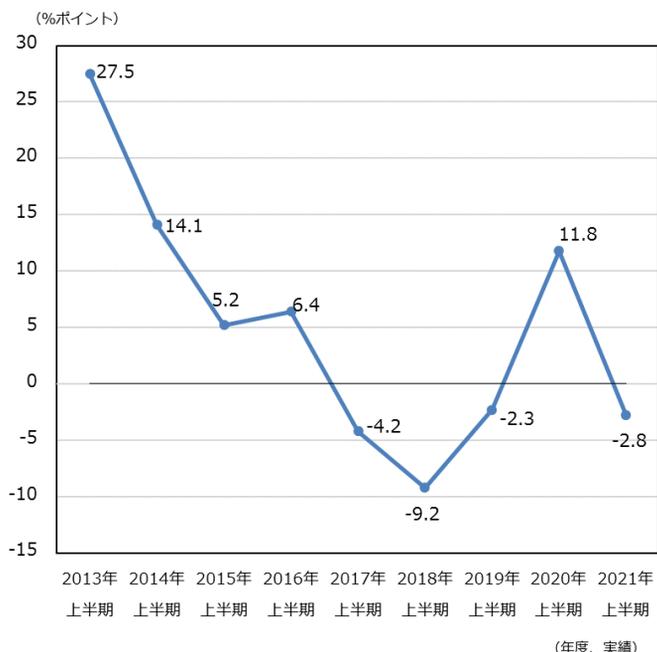
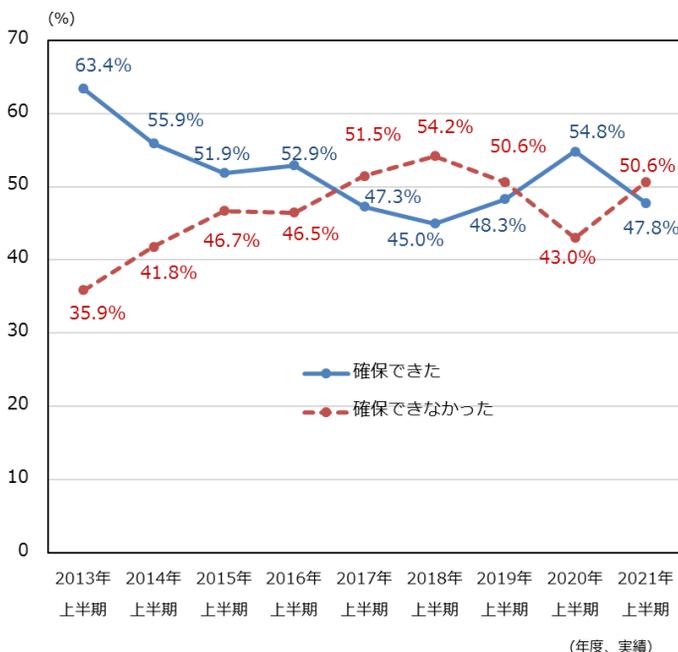
注3) 業種別は、「その他」以外について掲載。

## 2021年度上半期 中途採用における人員の確保 経年比較 2年ぶりに「確保できなかった」が「確保できた」を上回る

- 中途採用における人員確保を経年比較した。2021年度上半期の「確保できなかった」は50.6%と、前年同期の43.0%から+7.6ポイントと上昇した。一方で、2021年度上半期の「確保できた」は47.8%と、前年同期の54.8%から-7.0ポイントと低下した。
- 中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)は、-2.8ポイントと、2年ぶりに基準値の0を下回った。前年同期と比較して-14.6ポイントと下落した。これは比較可能な2013年上半期以降で、最大の変動幅である。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの企業で採用意欲は停滞し、2020年度上半期頃に求人難は下げ止まりとなった。しかし2021年度上半期においては、業種別に傾向は分かれたものの、全体的には再び求人難の状況と言える。

■ 中途採用における人員の確保 経年比較

■ 中途採用確保D.I.(「確保できた」-「確保できなかった」)経年比較



■ 中途採用における人員の確保 経年比較

	社数	確保できた	確保できなかった	その他・無回答	中途採用確保D.I. 「確保できた」-「確保できなかった」(%ポイント)
2013年度上半期	2769	63.4%	35.9%	0.7%	+27.5
2013年度下半期	2752	66.1%	33.6%	0.3%	+32.5
2014年度上半期	2751	55.9%	41.8%	2.3%	+14.1
2014年度下半期	2631	63.1%	36.4%	0.5%	+26.7
2015年度上半期	2978	51.9%	46.7%	1.4%	+5.2
2015年度下半期	2631	58.7%	40.3%	1.0%	+18.4
2016年度上半期	2978	52.9%	46.5%	0.6%	+6.4
2016年度下半期	3128	54.9%	44.5%	0.7%	+10.4
2017年度上半期	3260	47.3%	51.5%	1.2%	-4.2
2017年度下半期	3068	49.5%	49.9%	0.6%	-0.4
2018年度上半期	3383	45.0%	54.2%	0.8%	-9.2
2018年度下半期	3342	49.9%	49.9%	0.2%	+0.0
2019年度上半期	3269	48.3%	50.6%	1.1%	-2.3
2019年度下半期	3158	56.4%	42.7%	0.9%	+13.7
2020年度上半期	2965	54.8%	43.0%	2.1%	+11.8
2020年度下半期	2864	62.5%	36.3%	1.2%	+26.2
2021年度上半期	3173	47.8%	50.6%	1.5%	-2.8

注1) 中途採用を実施した企業を集計対象とした。

注2) なお、季節要因が考えられるためグラフでは上半期のみ掲載している。

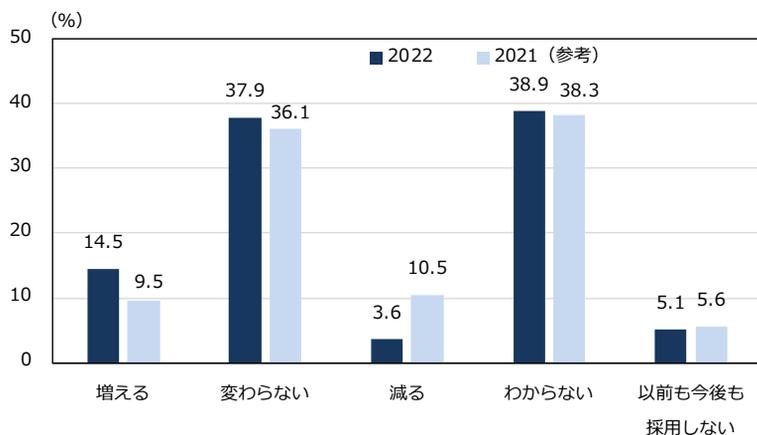
## 2022年度 中途採用見通し(従業員規模別)

### 2022年度の中途採用見通しは、大手企業の採用意欲回復が顕著

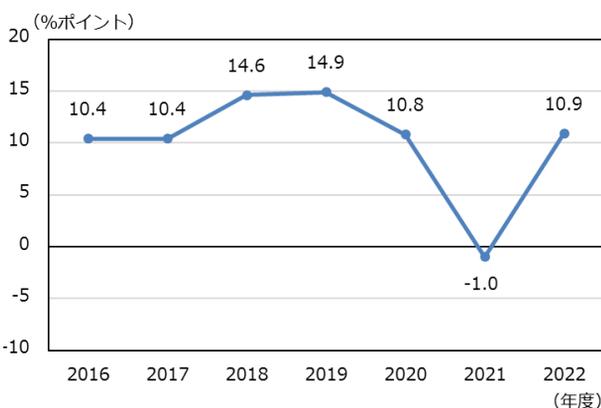
- 2022年度の中途採用の見通しについては、「増える」(14.5%)が「減る」(3.6%)を上回った。「増える」-「減る」のポイントは+10.9%ポイントとなった。昨年はコロナ禍のため採用意欲が減退したものの、2022年度は一転して回復し、再びの人手不足状況が予想される。
- 「わからない」と回答した企業が38.9%となった。前年と比較して+0.6%ポイントと微増した。コロナ禍前の2020年度(31.1%、※)と比較すると高い水準と言え、新型コロナウイルスの影響で採用数の決定に慎重な企業が一部残っていることがわかる。「以前も今後も採用しない」と回答した企業は5.1%と前年(5.6%)よりも更に減少した。将来的な人手不足を見越して、多くの企業が中途採用を試みていることがわかる。
- 従業員規模別に見ると、全ての従業員規模で「増える」が「減る」を上回った。採用意欲は回復している。特に従業員規模1000人以上の企業では+16.6%ポイントとなっており、1000人未満企業の+8.9%ポイントと比較して採用意欲の回復が顕著である。前年が-3.9%ポイントと大手企業が採用を抑制する傾向にあったため、その反動とも解釈できる。

(※)リクルートワークス研究所「中途採用実態調査(2020年度上半期実績、2021年度見通し)」

#### ■2022年度 中途採用見通し



#### ■中途採用見通しの「増える」-「減る」の経年比較



#### ■従業員規模別 2022年度 中途採用見通し

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
<b>全体</b>	<b>4519</b>	<b>14.5%</b>	<b>37.9%</b>	<b>3.6%</b>	<b>38.9%</b>	<b>5.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+10.9</b>
<b>1000人未満</b>	<b>3382</b>	<b>12.7%</b>	<b>37.2%</b>	<b>3.8%</b>	<b>40.5%</b>	<b>5.9%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+8.9</b>
5~99人	904	10.2%	29.4%	3.0%	47.5%	10.0%	0.0%	+7.2
100~299人	1189	11.9%	39.8%	4.3%	39.3%	4.8%	0.0%	+7.6
300~999人	1289	15.2%	40.3%	3.8%	36.7%	4.0%	0.0%	+11.4
<b>1000人以上</b>	<b>1137</b>	<b>19.8%</b>	<b>40.1%</b>	<b>3.2%</b>	<b>34.1%</b>	<b>2.8%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+16.6</b>
1000~1999人	516	18.0%	42.6%	3.9%	33.1%	2.3%	0.0%	+14.1
2000~4999人	397	23.4%	38.3%	2.0%	33.2%	3.0%	0.0%	+21.4
5000人以上	224	17.4%	37.5%	3.6%	37.9%	3.6%	0.0%	+13.8

#### <参考>従業員規模別 2021年度 中途採用見通し

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」(%ポイント)
全体	4516	9.5%	36.1%	10.5%	38.3%	5.6%	0.0%	-1.0
1000人未満	3368	9.0%	36.5%	9.0%	39.3%	6.2%	0.0%	+0.0
1000人以上	1148	11.0%	35.0%	14.9%	35.3%	3.7%	0.1%	-3.9

## 2022年度 中途採用見通し(業種別)

## 飲食店・宿泊業を含む、ほぼ全ての業種で採用意欲は回復へ向かう

- 2022年度の中途採用見通しを業種別(大分類)で見ると、全ての業種において「増える」が「減る」を上回っている。
- 業種別(中分類)で見ても、ほぼ全ての業種において「増える」が「減る」を上回っている。中でも、「増える」が「減る」を大きく上回っているのは、情報通信業(+22.7%ポイント)、機械器具製造業(+14.1%ポイント)である。いずれも人手不足が目立つ業種や、コロナ禍でも業績見通しが良い業種である。また飲食店・宿泊業(+12.9%ポイント)や運輸業(+12.0%ポイント)など、前年コロナ禍の影響で見通しの悪かった業種でも採用意欲は回復している(※)。
- 大分類について前年と比較すると、全ての業種において、中途採用意欲は回復している。

(※)リクルートワークス研究所「中途採用実態調査(2020年度上半期実績、2021年度見通し)」によると、2021年度の飲食店・宿泊業と運輸業の見通しはそれぞれ-6.5%ポイント、-5.5%ポイントとマイナス幅が特に大きい業種だった。

## ■業種別 2022年度 中途採用見通し(大分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」 (%ポイント)
<b>全体</b>	<b>4519</b>	<b>14.5%</b>	<b>37.9%</b>	<b>3.6%</b>	<b>38.9%</b>	<b>5.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+10.9</b>
建設業	355	12.7%	50.7%	3.9%	29.6%	3.1%	0.0%	+8.8
製造業	1373	15.4%	36.5%	3.7%	40.7%	3.7%	0.0%	+11.7
流通業	782	12.4%	35.4%	3.8%	40.7%	7.7%	0.0%	+8.6
金融業	237	8.4%	38.8%	2.1%	46.4%	4.2%	0.0%	+6.3
サービス・情報業	1726	16.0%	37.4%	3.5%	37.4%	5.6%	0.0%	+12.5

## ■業種別 2022年度 中途採用見通し(中分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」 (%ポイント)
<b>全体</b>	<b>4519</b>	<b>14.5%</b>	<b>37.9%</b>	<b>3.6%</b>	<b>38.9%</b>	<b>5.1%</b>	<b>0.0%</b>	<b>+10.9</b>
建設業	355	12.7%	50.7%	3.9%	29.6%	3.1%	0.0%	+8.8
製造業(機械以外)	790	13.8%	35.7%	3.9%	43.2%	3.4%	0.0%	+9.9
機械器具製造業	583	17.5%	37.6%	3.4%	37.4%	4.1%	0.0%	+14.1
※電気・ガス・熱供給・水道業	42	2.4%	47.6%	4.8%	38.1%	7.1%	0.0%	-2.4
情報通信業	339	25.1%	36.9%	2.4%	30.4%	5.3%	0.0%	+22.7
運輸業	351	16.0%	37.9%	4.0%	37.9%	4.3%	0.0%	+12.0
卸売業	387	12.1%	35.9%	3.4%	41.9%	6.7%	0.0%	+8.7
小売業	395	12.7%	34.9%	4.3%	39.5%	8.6%	0.0%	+8.4
金融・保険業	237	8.4%	38.8%	2.1%	46.4%	4.2%	0.0%	+6.3
不動産業	70	11.4%	37.1%	2.9%	41.4%	7.1%	0.0%	+8.5
飲食店・宿泊業	185	17.8%	30.8%	4.9%	37.8%	8.6%	0.0%	+12.9
医療・福祉	300	9.3%	49.0%	3.0%	35.7%	3.0%	0.0%	+6.3
教育・学習支援業	86	4.7%	27.9%	3.5%	54.7%	9.3%	0.0%	+1.2
サービス業(他に分類されないもの)	353	17.6%	32.3%	4.0%	39.9%	6.2%	0.0%	+13.6

注1) ※が付いているものは、回答社数が少ないため、参考データとして掲載。

注2) 業種別は、「その他」以外について掲載。

## &lt;参考&gt;業種別 2021年度 中途採用見通し(大分類)

	社数	増える	変わらない	減る	わからない	以前も今後も採用しない	無回答	「増える」-「減る」 (%ポイント)
全体	4516	9.5%	36.1%	10.5%	38.3%	5.6%	0.0%	-1.0
建設業	352	11.9%	47.7%	7.7%	27.3%	5.4%	0.0%	+4.2
製造業	1454	7.8%	31.8%	13.8%	42.2%	4.3%	0.1%	-6.0
流通業	783	9.5%	37.4%	7.9%	37.8%	7.4%	0.0%	+1.6
金融業	243	7.4%	32.9%	4.1%	47.3%	8.2%	0.0%	+3.3
サービス・情報業	1645	10.9%	37.3%	10.5%	35.9%	5.4%	0.0%	+0.4

## 【業種5区分の内訳】

### <建設業>

業種名
総合工事業
設備工事業、職別工事業 (大工、とび、左官、石工など)

### <製造業>

業種名
食品
繊維
化学・紙・石油
医薬・化粧品
ゴム・ガラス・セラミックス
鉄鋼・非鉄金属・金属
機械・プラント・エンジニアリング
総合電機
重電・産業用電気機器
コンピュータ・通信機器・OA機器関連
家電・AV機器
ゲーム・アミューズメント機器
半導体・電子・電気部品
その他の電気機械器具製造業
自動車・鉄道・航空機等製造、 同部品製造
精密機械器具製造業
印刷関連
その他の製造業

### <流通業>

業種名
商社
百貨店
スーパー・DIY・生活協同組合
専門店(複合)
専門店(洋装品・呉服)
専門店(自動車関連)
専門店(電気製品)
専門店(カメラ・メガネ・貴金属・皮革・ スポーツ用品・楽器 その他)

### <金融業>

業種名
銀行
信託銀行
労働金庫・信用金庫・信用組合
証券
生命保険・損害保険
クレジット
その他金融(投資業・ベンチャーキャピ タル・消費者金融 その他)

### <サービス・情報業>

業種名
通信
放送業
情報サービス・調査業 (ソフトウェア 業、情報処理業、コンピュータ修理など)
インターネット付随サービス業
映像・音声・文字情報制作業 (映画・ビデオ・テレビ番組・レコード・ラジ オ番組制作業、新聞業、出版業)
不動産
鉄道、道路旅客運送業
道路貨物運送業
倉庫業
旅行業および 運輸に付帯するサービス業
海運・航空・その他の運輸業
電力・ガス・水道・エネルギー
飲食店
旅館、ホテル、レジャー
医療・福祉
教育・学習支援
物品賃貸業
広告代理業
専門サービス業 (法律事務所、税務事 務所、デザイン業、広告制作業、コンサル タントなど)
その他の事業サービス業 (理美容関 連、消毒、ビルメンテナンス、職業紹介、 清掃事業、その他生活関連サービス業)
その他のサービス業 (自動車整備業、 機械等修理業、協同組合、廃棄物処理 業、学術研究機関、宗教、経済団体など)